

前回審議会における指摘事項について

分類	指摘事項	考え方及び対応
プラスチック製容器包装について	○ プラスチック製容器包装の分別収集に関する市の考え方について、基本的には同意するが、短期的に、今の時点での環境負荷が多いか少ないかではなく、中長期的に、買い方が変わっていくことにより結果としてごみ量が減っていくという観点も必要。	○ ご指摘のとおり、プラスチック製容器包装の分別・リサイクルによって、容器包装全体が削減されていくことで、中長期的なごみ焼却量の削減、環境負荷の低減に資するものと考えております。
家庭ごみ有料化について	○ 前回の答申の時点ではプラスチック製容器包装の分別導入前であったので、レジ袋等の取扱いについては今後の検討事項と思う。 ○ 前は単純従量制が適当との答申であったが、今回の答申では、他の選択肢も残しておくという意味でよいか。 ○ レジ袋等の取扱いをどうするのかというような検討も残っているので、以前の答申をそのまま使うという結論は出せないだろう。まずは有料化をできる限り早期に導入する必要があるということを宣言しつつ、まだいくつか詳しく議論すべき課題が残っているということを文言として残しておくことだろう。	○ 家庭ごみ有料化の具体的な制度内容については、平成 20 年 9 月の審議会答申を基本としますが、近隣自治体の状況や最近の社会経済情勢等を踏まえて再確認を行い、別途取りまとめ・公表していく予定です。
各取組について	○ 区ごとにごみ減量化推進員の意識にばらつきがあり、会議でも出席者に温度差がある。 ○ 答申として、全員に同じ意識を持たせる、またはリーダー的な人を育てるなど、書き方を検討すること。	○ 「ごみ減量化推進員制度の活性化」の部分の表現を修正しました。 (資料 1-2 P18)
	○ 雑がみについて、京都市では H26 から取り組んでいる。家庭ごみ中で一定の割合を占めると思うので、集中的に取り組む項目として挙げたほうが良いのではないか。 ○ 家庭系古紙類の回収強化と一体の取組として、雑がみ回収も視野に入れていくというような文言を入れてはどうか。	○ 「雑がみ回収の導入検討」については、【集中的に検討・実施すべき取組】に修正しました。 (資料 1-2 P17)
取組のスケジュール・進捗管理について	○ 様々な施策に取組む姿勢はわかったので、今後は進捗も示してほしい。 ○ 各取組についていつまでにするかスケジュールを示すべき。	○ 第 3 次基本計画では、各取組の大まかなスケジュールをお示しする予定です。また、別途「(仮称)基本計画推進プラン」を策定し、当初 5 年間のより詳細なスケジュール等をお示しするとともに、毎年進捗管理を行い、その結果については審議会にもご報告いたします。

分類	指摘事項	考え方及び対応
その他表現の修正等について	○ 「焼却すべきごみ量の観点のみでなく」という表現がわかりにくい。災害ごみも焼却すべきごみなので、「平常時のごみ」など表現を改めること。	○ 表現を修正しました。 (資料 1-2 P21)
	○ CO ₂ 排出量の「参考項目」という表現が漠然としていて定義がわかりにくい。目標項目でも良いのではないか。	○ 市の事務事業に伴う CO ₂ 排出量については、別途「堺市地球温暖化対策実行計画<事務事業編>」において目標設定・進行管理を行っていることから、ごみ処理基本計画では、目標値として設定するのではなく、ごみ処理量の削減に伴う CO ₂ 削減量を参考として示す形を考えています。 なお、表現については修正しました。 (資料 1-2 P25)
	○ 「おわりに」のところで、「可能なものから着実に実行に移す」とあるが、優先度が高いものからやっていただくことが必要。	○ 表現を修正しました。 (資料 1-2 P31)